

スプリントレトロスペクティブ議事録（完全版）

Sprint 23 振り返り（2026 年 4 月 29 日 ~ 2026 年 5 月 12 日）

1. 会議概要

- 日時：2026 年 5 月 12 日（火） 15:00~16:30
- 場所：Zoom（オンライン） + Miro（オンラインホワイトボード）
- ファシリテーター：スクラムマスター：佐藤花子
- 参加者：PO：田中一郎／開発メンバー：山田太郎・鈴木次郎・高橋三郎・伊藤四郎／QA：渡辺五郎（計 7 名）
- 欠席者：なし
- 録画：あり（Zoom Cloud / 自動文字起こし AI Companion）
- 議事録作成者：佐藤花子（SM）

2. Sprint 23 実績サマリ

- コミットメント：合計 32 SP（ストーリーポイント）
- 完了：28 SP（87.5%）
- キャリーオーバー：4 SP（STORY-1234 OIDC 対応 / レビュー指摘対応中）
- ベロシティ：直近 3 スプリント平均 30 SP（今回 28 SP・微減）
- バーンダウン：Day 8 までは計画線通り、Day 9 以降に BUG 対応で遅延発生
- デプロイ回数：本番 5 回・ステージング 18 回
- インシデント：本番 1 件（軽微・Auth Cookie / 15 分で復旧）

■ レビュー平均 TAT : 4.2 時間 (前 Sprint 6.1h から改善)

3. KPT (Keep / Problem / Try)

【Keep】 継続したい良かったこと

- ADR (Architecture Decision Record) の運用が定着し、意思決定の経緯が後から追える状態になった。
- ペアプロ + モブプロ 枠 (火・木 10:00~11:00) が知識共有に効いている。新メンバーの立ち上がりが早い。
- PR レビュー平均 TAT が 6.1h→4.2h に改善。レビュー優先文化が浸透。
- Storybook 導入によりフロントエンドの UI テストが効率化。デザイナーとの連携工数が減った。
- AI コーディングアシスタント (Cursor / GitHub Copilot) の活用が進み、ボイラープレート実装速度が向上。

【Problem】 問題・課題

- BUG-5678 (Cookie SameSite) の原因特定に 3 日要した。検証環境が本番ドメイン構成と一致していなかった。
- Sprint 中盤に飛び込みタスクが 2 件発生 (CS 起因の本番障害調査)。コミットメントの確実性が下がる。
- OIDC 実装で Authelia のドキュメントが不十分。社内ナレッジ蓄積が必要。
- テストカバレッジが目標 80% に対し 75%。新規追加コードへのテスト不足。
- デザイナーからの Figma 差分連絡が口頭ベース。記録が残らずレビュー時に発覚するケースあり。

【Try】 次 Sprint で試すこと (アクション)

- [山田] 検証環境のドメイン構成を本番と一致させる IaC 修正 PR (~5/16)
- [佐藤(SM)] 飛び込みタスクのトリアージ手順を明文化し、Sprint Goal 保護ルールを更新 (~5/15)
- [鈴木] Authelia の社内ナレッジ記事を Notion に作成 (~5/19)
- [高橋] テスト未追加コードへのレビュー指摘ルールを CONTRIBUTING.md に追加 (~5/14)
- [渡辺] デザイナーへの Figma 差分通知を Slack 通知 Bot で自動化 (~5/22)

4. Sprint 24 計画（プレビュー）

- Sprint Goal：マイページのリファクタリング完了と OIDC 本番リリース
- コミット候補：35 SP（直近平均ベロシティ 30 + バッファ余裕）
- 主要ストーリー：STORY-1234（残 4SP）、STORY-1240（プロフィール画面 8SP）、STORY-1245（通知設定 5SP）、STORY-1250（パスワード変更フロー改修 5SP）
- 技術タスク：依存関係アップデート（Next.js 14.2、Node 20 LTS）、Datadog Tracing 有効化
- リスク：OIDC 本番リリースに伴うサポート問い合わせ増加（CS と事前共有済）

5. アクションアイテム（担当・期日）

#	担当	アクション	期日
1	山田	検証環境ドメイン構成の IaC 修正 PR	5/16
2	佐藤(SM)	飛び込みタスクトリ アージ手順更新	5/15
3	鈴木	Authelia ナレッジ記事 作成	5/19
4	高橋	CONTRIBUTING.md レ ビュー指摘ルール追加	5/14
5	渡辺	Figma 差分 Slack 通知 Bot 構築	5/22

※ 本議事録はアジャイル/スクラム（スクラムガイド 2020）に準拠。

※ 用語：SP=ストーリーポイント、TAT=ターンアラウンドタイム、ADR=Architecture Decision Record、SM=スクラム
マスター、PO=プロダクトオーナー。

※ 次回スプリントレトロ：2026 年 5 月 26 日（火）15:00～16:30。